



2026年9月30日

各 位

会 社 名	イリソ電子工業株式会社
代表者の 役職氏名	代表取締役社長 鈴木 仁 (コード番号：6908)
問合わせ先	取締役執行役員 池田 修一 管理本部長
電話番号	045-478-3111 (代表)

**(訂正・数値データ訂正)「2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正に関するお知らせ**

当社は、2026年2月6日に開示いたしました「2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2026年9月30日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後のみ全文を添付し、訂正の箇所には下線____を付して表示しております。

以 上



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月3日

東

上場会社名 イリソ電子工業株式会社

上場取引所

コード番号 6908

URL <https://www.irisoee.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長

(氏名) 大浦 信一郎

TEL 045-478-3111

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無

: 有

決算説明会開催の有無

: 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	47,141	11.5	4,426	13.5	4,973	15.3	3,675	21.4
2025年3月期第3四半期	42,264	1.2	3,901	△20.3	4,312	△21.2	3,028	△29.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 7,063百万円(38.9%) 2025年3月期第3四半期 5,084百万円(△23.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	172.16	—
2025年3月期第3四半期	132.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	94,838	74,347	78.4
2025年3月期	90,333	69,900	76.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 74,344百万円 2025年3月期 69,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	150.00	150.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2026年3月期期末配当金の内訳 普通配当110円00銭 記念配当40円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	2.9	5,500	0.9	5,850	5.1	4,800	91.0	224.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.7「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	24,460,879株	2025年3月期	24,460,879株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	3,110,421株	2025年3月期	3,006,274株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	21,351,360株	2025年3月期3Q	22,859,236株

(注) 「役員報酬BIP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1. 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、上期にみられた前倒し需要の反動が広がり、成長の減速傾向が一段と明確化しました。保護主義の強まりや政策環境の不確実性を背景に、先進国の伸び悩みと地域間のばらつき継続が指摘される状況にあり、米国の底堅さと欧州の停滞、中国やインドなどアジアは相対的に堅調さを示しました。

当社グループの主要事業領域である自動車関連市場では、各国の政策の影響により需要動向の先行きに不透明感があるものの、当第3四半期連結累計期間においては、中国における政策支援の継続と投資の下支えにより、同国の自動車メーカーの生産が輸出向けを含めて堅調に推移しました。

このような事業環境の中、売上高は、自動車向けが中心のモビリティ市場においては、自動車内で扱われる情報量の増加に伴うインフォテインメント分野での高速伝送対応可動BtoBコネクタの需要の堅調さと、xEV（EV、FCHV、PHV、HEV）向けのパワートレイン分野で中国地域が好調さを維持していることにより、前年同期比9.3%増加しました。コンシューマー市場では、主にゲーム機向けが減少し、前年同期比3.6%減となりました。インダストリアル市場では一部のFA機器向けの回復と、エネルギーマネジメント分野向けの拡大が継続したことにより、前年同期比73.3%増加しました。以上により、売上高は前年同期比11.5%増の471億4千1百万円となり、第3四半期累計として過去最高売上高を更新しました。

利益面では、原材料価格高騰等の影響を受けたものの、原価低減や構造改革効果により、営業利益は前年同期比13.5%増の44億2千6百万円、経常利益は前年同期比15.3%増の49億7千3百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比21.4%増の36億7千5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(2025年3月末)に比べ、45億4百万円増加し、948億3千8百万円となりました。この主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が22億5千万円、現金及び預金が11億8千4百万円増加したことによるものであります。

負債は、支払手形及び買掛金が11億4千7百万円増加、長期借入金が6億8千6百万円減少したことにより前連結会計年度末に比べ5千7百万円増加し、204億9千万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加36億7千5百万円、配当による減少21億4千5百万円、非支配株主持分の減少5億7千4百万円により前連結会計年度末に比べ、44億4千7百万円増加し、743億4千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年11月5日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,335	25,520
受取手形、売掛金及び契約資産	12,777	15,028
商品及び製品	8,782	8,960
仕掛品	32	40
原材料及び貯蔵品	3,944	4,505
その他	1,616	1,796
貸倒引当金	<u>△22</u>	<u>△126</u>
流動資産合計	51,466	55,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,515	10,161
機械装置及び運搬具（純額）	13,789	14,880
工具、器具及び備品（純額）	4,144	4,688
土地	1,890	1,908
建設仮勘定	3,261	2,639
有形固定資産合計	33,601	34,278
無形固定資産		
ソフトウェア	2,728	2,266
のれん	60	37
その他	13	73
無形固定資産合計	2,802	2,377
投資その他の資産		
投資有価証券	276	408
繰延税金資産	1,459	1,265
その他	784	839
貸倒引当金	△56	△56
投資その他の資産合計	2,463	2,456
固定資産合計	38,867	39,113
資産合計	90,333	94,838

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,701	5,848
短期借入金	4,000	3,700
1年内返済予定の長期借入金	895	901
未払法人税等	580	632
賞与引当金	741	690
役員賞与引当金	94	65
その他	3,473	3,435
流動負債合計	14,486	15,274
固定負債		
長期借入金	4,426	3,739
退職給付に係る負債	416	399
その他	1,103	1,076
固定負債合計	5,946	5,215
負債合計	20,433	20,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,640	5,640
資本剰余金	8,045	8,164
利益剰余金	48,632	50,226
自己株式	△6,099	△6,361
株主資本合計	56,218	57,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99	183
為替換算調整勘定	12,880	16,373
退職給付に係る調整累計額	123	117
その他の包括利益累計額合計	13,103	16,674
非支配株主持分	578	3
純資産合計	69,900	74,347
負債純資産合計	90,333	94,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	42,264	47,141
売上原価	29,096	33,641
売上総利益	13,168	13,500
販売費及び一般管理費	9,266	9,073
営業利益	3,901	4,426
営業外収益		
受取利息	263	219
受取配当金	6	8
補助金収入	21	95
為替差益	199	383
その他	77	45
営業外収益合計	568	753
営業外費用		
支払利息	113	115
デリバティブ評価損	11	—
その他	32	91
営業外費用合計	157	206
経常利益	4,312	4,973
特別利益		
固定資産売却益	1	13
国庫補助金	—	404
為替換算調整勘定取崩益	—	74
特別利益合計	1	491
特別損失		
固定資産除却損	129	63
固定資産売却損	0	—
減損損失	14	19
在外子会社における送金詐欺損失	35	—
特別損失合計	180	83
税金等調整前四半期純利益	4,133	5,381
法人税、住民税及び事業税	863	1,542
法人税等調整額	284	183
法人税等合計	1,148	1,725
四半期純利益	2,985	3,655
非支配株主に帰属する四半期純利益	△43	△20
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,028	3,675

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,985	3,655
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	83
為替換算調整勘定	2,088	3,330
退職給付に係る調整額	△8	△6
その他の包括利益合計	2,099	3,407
四半期包括利益	5,084	7,063
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,039	7,078
非支配株主に係る四半期包括利益	44	△14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度末において、独立掲記しておりました「無形固定資産」の「ソフトウェア仮勘定」は、金額的な重要性が乏しくなったため、当第3四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度末の連結貸借対照表の組み替えを行っております。

この結果、前連結会計年度末の連結貸借対照表において、「無形固定資産」に表示していた「ソフトウェア仮勘定」13百万円、「その他」0百万円は、「その他」13百万円として組み替えております。

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めておりました「補助金収入」は、金額的な重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より独立掲記することとしております。この表示方法を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組み替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「その他」に表示していた98百万円は、「補助金収入」21百万円、「その他」77百万円として組み替えております。

(違法行為及び連結財務諸表の虚偽表示に関する対応について)

当社は、海外子会社において労務紛争対応に関連した不適切な金銭交付の疑義が生じたことから、2026年2月18日に外部の弁護士及び公認会計士を委員とする調査委員会を設置することを決定いたしました。

当該調査委員会によるデジタル・フォレンジック調査の過程で、会計処理及び品質検査等に関するコンプライアンス上の問題の存在を疑わせる事象が新たに認識されました。このため、当社は2026年4月27日に、調査範囲を拡大し独立した調査を実施する目的で第三者委員会を設置することを決議し、2026年9月28日に第三者委員会から調査報告書を受領いたしました。

第三者委員会の調査の結果、海外子会社での不適切な金銭交付等の疑いに加え、当社における品質管理・品質保証に関するデータ改ざん等の事象のほか、海外子会社における未確定の決算数値の使用、複数の海外子会社における売上の前倒し計上、並びに当社及び海外子会社における棚卸資産及び固定資産に関する損失計上の遅延等、複数の会計処理に関する疑義が識別され、不適切な会計処理を含む多数の虚偽表示が判明いたしました。これを受け、当社は、これらの事象について法的評価を含め財務報告への影響を検討したうえ、連結財務諸表を訂正することといたしました。なお、今回の訂正にあたっては、訂正の原因となった事象を連結財務諸表に反映した結果として影響を受ける事項、重要性がないため訂正を行っていなかった事項の訂正も併せて行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧州	北米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	6,573	24,597	6,751	4,341	42,264	—	42,264
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	23,639	16,325	—	—	39,964	△39,964	—
計	30,212	40,923	6,751	4,341	82,228	△39,964	42,264
セグメント利益又は損失(△)	3,597	2,634	△173	119	6,177	△2,275	3,901

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の「調整額」△2,275百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,406百万円及び棚卸資産の調整額等130百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧州	北米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	7,419	29,078	7,097	3,545	47,141	—	47,141
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	22,785	17,408	—	0	40,194	△40,194	—
計	30,205	46,486	7,097	3,546	87,335	△40,194	47,141
セグメント利益又は損失(△)	2,149	4,863	286	△65	7,234	△2,807	4,426

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の「調整額」△2,807百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,374百万円及び棚卸資産の調整額等△433百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	5,319百万円	4,997百万円
のれんの償却額	22百万円	22百万円